

## 2024年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月14日

上場会社名 株式会社 ミスターマックス・ホールディングス

上場取引所 東 福

コード番号 8203 URL https://www.mrmax.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 能章

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員財務部門管掌 (氏名) 石井 宏和

四半期報告書提出予定日 2023年7月14日

TEL 092-623-1111

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年2月期第1四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	30,954	0.8	724	41.4	697	42.1	462	42.3
2023年2月期第1四半期	30,709	0.5	1,236	5.9	1,205	7.0	801	0.1

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 441百万円 (44.3%) 2023年2月期第1四半期 792百万円 (2.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	13.92	
2023年2月期第1四半期	24.14	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	84,024	31,996	38.1
2023年2月期	81,932	32,452	39.6

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 31,996百万円 2023年2月期 32,452百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		27.00	27.00
2024年2月期(予想)		0.00		21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,700	1.2	2,100	24.2	2,000	26.1	1,300	29.1	39.13
通期	129,500	2.0	4,000	13.6	3,800	16.0	2,500	27.1	75.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期1Q	39,611,134 株	2023年2月期	39,611,134 株
期末自己株式数	2024年2月期1Q	6,389,130 株	2023年2月期	6,388,805 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期1Q	33,222,162 株	2023年2月期1Q	33,192,917 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付書類の2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(企業結合等関係)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年3月1日～2023年5月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う行動制限が解除され、社会活動が活発になり、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や原材料価格の高騰に伴う物価上昇が続くなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「普段の暮らしをより豊かに、より便利に、より楽しく」という経営理念のもと、総合ディスカウントストアとして、生活必需品を中心とした商品を毎日低価格で販売するエブリデイ・ロープライス(EDLP)を徹底し、EDLPを支えるエブリデイ・ローコスト(EDLC)に注力してまいりました。物価高騰が続く中、値下げ企画を継続的に行うなど、お客様の普段の暮らしに貢献する取り組みを推し進めてきました。さらに、2023年3月にはオンラインストアをオープンし、より多くのお客様のさらなる利便性の向上を図っております。

当第1四半期連結累計期間における全店売上高は296億84百万円(前期比100.7%)となりました。商品別売上では、PB商品については、家電や収納用品、食品など、幅広い商品で売上が伸長し、売上高前年同期比が2割増となりました。NB商品は、値下げを行った飲料や菓子、ペットフードなどが堅調に推移するなど、お客様に「価値ある安さ」をご評価いただきました。また、外出の機会が増えたことから、キャリーバッグや化粧品などが売上を伸ばしました。一方で、エアコンや扇風機、肌着、寝具などの季節商品が低調でした。

店舗開発については、通年で18店舗の改装を計画しており、当第1四半期連結累計期間では4店舗の改装を行い、既存店の刷新、強化を図っております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益(売上高+不動産賃貸収入+その他の営業収入)は309億54百万円(前期比100.8%)となり前年を上回りました。また、既存店における売上高前年同期比は101.0%となりました。

荒利益高は、引き続き原価高騰の影響は続いており、さらに、マスクや検査キットなどのコロナ関連商品等の高荒利益率商品群の売上の減少及び、前述の価格政策が好評だった食品の売上高構成比が高まったことの影響などから荒利益率が低下し、65億35百万円(前期比95.5%)となりました。

コスト面においては、店舗における作業システムの改善による人時数削減に継続的に取り組んだ結果、人件費は減少しました。一方、改装やEC事業の費用が増加するなどした結果、販売費及び一般管理費は、70億81百万円(前期比103.4%)となりました。

これらの結果、営業利益は7億24百万円(前期比58.6%)、経常利益は6億97百万円(前期比57.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億62百万円(前期比57.7%)となりました。第2四半期以降におきましても、改装やPB商品の拡大、ECの改良と普及を進め、より多くのお客様にMrMaxの安さと便利さを楽しんでいただくことで、業績向上に努めてまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ22億11百万円増加し、204億57百万円となりました。これは主として、商品の増加27億10百万円などによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億19百万円減少し、635億66百万円となりました。これは主として、差入保証金の減少1億4百万円などによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ20億92百万円増加し、840億24百万円となりました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ41億98百万円増加し、300億53百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加24億35百万円などによるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ16億51百万円減少し、219億74百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少13億87百万円などによるものです。

この結果、負債は前連結会計年度末に比べ25億47百万円増加し、520億28百万円となりました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ4億55百万円減少し、319億96百万円となりました。これは主として、利益剰余金の減少4億34百万円などによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の連結業績予想につきましては、2023年4月13日公表の予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,136	1,500
売掛金	3,030	4,041
商品	10,769	13,480
貯蔵品	45	45
その他	1,265	1,390
流動資産合計	18,246	20,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,328	13,341
土地	30,115	30,115
その他（純額）	4,983	4,941
有形固定資産合計	48,428	48,398
無形固定資産	1,233	1,234
投資その他の資産		
差入保証金	7,284	7,179
その他	6,774	6,788
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	14,023	13,933
固定資産合計	63,686	63,566
資産合計	81,932	84,024

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,846	9,281
電子記録債務	7,556	7,652
短期借入金	-	1,700
1年内返済予定の長期借入金	5,570	5,440
1年内償還予定の社債	286	286
未払法人税等	407	378
賞与引当金	875	1,121
その他	4,311	4,193
流動負債合計	25,854	30,053
固定負債		
社債	1,428	1,285
長期借入金	13,956	12,569
退職給付に係る負債	864	877
資産除去債務	1,230	1,234
その他	6,145	6,008
固定負債合計	23,625	21,974
負債合計	49,480	52,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	7,986	7,986
利益剰余金	16,612	16,177
自己株式	△2,591	△2,591
株主資本合計	32,237	31,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115	91
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	5	5
退職給付に係る調整累計額	95	97
その他の包括利益累計額合計	215	194
純資産合計	32,452	31,996
負債純資産合計	81,932	84,024

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	29,465	29,684
売上原価	22,624	23,148
売上総利益	6,840	6,535
営業収入		
不動産賃貸収入	962	960
その他の営業収入	281	309
営業収入合計	1,243	1,270
営業総利益	8,084	7,806
販売費及び一般管理費		
販売費	1,386	1,539
一般管理費	5,462	5,541
販売費及び一般管理費合計	6,848	7,081
営業利益	1,236	724
営業外収益		
受取利息	7	6
補助金収入	6	-
保険配当金	7	-
テナント退店収益	-	2
その他	9	9
営業外収益合計	30	19
営業外費用		
社債利息	0	0
支払利息	45	33
その他	14	12
営業外費用合計	60	46
経常利益	1,205	697
特別利益		
投資有価証券売却益	-	4
受取保険金	8	-
特別利益合計	8	4
特別損失		
固定資産除却損	0	40
災害による損失	8	-
退店関連損失	19	-
特別損失合計	28	40
税金等調整前四半期純利益	1,185	661
法人税、住民税及び事業税	469	315
法人税等調整額	△82	△116
法人税等合計	387	198
四半期純利益	797	462
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	801	462

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	797	462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△24
繰延ヘッジ損益	-	1
為替換算調整勘定	0	0
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	△5	△20
四半期包括利益	792	441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	795	441
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称 株式会社ロジディア

事業の内容 当社グループのサプライチェーンにおける3PL事業

(2) 企業結合日

2023年3月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社ミスターマックス(当社の連結子会社)を分割会社、株式会社ロジディア(当社の連結子会社)を承継会社とする吸収分割方式による会社分割

(4) 結合後企業の名称

株式会社ロジディア

(5) その他取引の概要に関する事項

当社グループは、株式会社ロジディアにおいて既存取引先をはじめ、他社の商品集荷・在庫管理などを担うことで、物流支援サービスを充実させ、業容の拡大を図る方針です。また、これまで株式会社ミスターマックスにおけるディスカウントストア事業の一部として運営していた物流事業を株式会社ロジディアに承継することで、意思決定の迅速化及び機動的な事業運営を実現し、当社グループの企業価値の更なる向上を目指します。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。